

2026年3月1日

神戸学園都市 YMCA こども園 3月えんだより

3月の聖句 「主が、一步一步を備えてくださる。」

箴言16章9節

この冬はこれまでにないような暖かい日があったり、厳しい寒さと共に雪が降り積もったりと、ジェットコースターのような気候、気温の変化が続きました。こども園でもインフルエンザ等の感染症が流行し、こどもも大人もつらい冬でしたが、ようやく日常の落ち着きが戻ってきています。まだまだ油断はできませんが、大きなゆりかごのような神様の御手の中で、年度末の残された日々をやすらかに過ごせることを祈りたいと思います。

もう数十年前のことになりますが、中高生の子どもたちと活動していたことがありました。先日、その時のメンバーや、共に活動していたリーダー達と久しぶりに再会する機会がありました。当時から中高生や大学生だったみんなはそれぞれに年齢を重ね、お父さんやお母さんになって子育てを、また、様々な職業について社会人として頑張っていました。中でも当時から個性的だった一人は、毎日のようにSNSに豪華な食事を写真などでUPしています。「居合術」などもたしなむ彼。10年程前はバリスタを目指してコーヒー店で働いていたのですが、数年前から今のような豪華な料理作りをはじめ、料理店の経営を目指して飲食店で働きながら修業を積んでいるようです。毎日のようにSNSにUPされる豪華な料理、「誰が食べるの?」と思っていたのですが、今回の久しぶりの再会で、家族を持ち、2歳になる娘さんの子育て中とのことでした。また、別のメンバーは、数十年ぶりに遠方から新幹線で駆けつけたとのこと。今は、親元を離れて一人暮らしをしながら、大きな造船会社で船の運航にかかわるシステム開発に携わっているということでした。元女子リーダーの一人は、仕事を続けながら子育て中で、子どもはとあるYMCAの保育園に通わせているとのことでした。女子メンバーの一人は、子育てをしつつ幼稚園でパートの仕事を続けていると、子ども同伴でした。結婚を控え、近々、お相手のご両親に挨拶に行くという元メンバーも……。中高生世代の子どもたちといえば、多くは学校が中心で部活動などにも取り組み、休日に活動していたYMCAの活動に参加するというのは難しかったのではないかと思います。すべてではありませんが、メンバーの中には、自身や家族、学校といった環境の中で何らかの悩みや課題を抱えていたように思います。そのような彼らが、数十年後には、自分の足でしっかり立つ「大人」「社会人」「親」になって生きている姿はとても輝いていました。

少し前に、「忍者のサバイバル」というような番組を見る機会がありました。その中で紹介された忍術の極意。暗闇で刀の鞘をお取りのように使って相手を倒したり、布を相手に投げて目をくらましたすきに切りつけたりといった、一見「卑怯」なように感じられるものがありました。そして、それでもダメな時は「逃げる。」そのような極意の裏には「何が何でも生き残る。」という思想があったそうです。

進級や就学といった大きな変化の時期を迎える私たちも、この大きな変化を不安に感じたり、実際に様々な困難に遭遇したりすることがあるかもしれません。そのような時には忍者の極意、「何が何でも生き残る。」を大切にすることも必要のような気がします。そして、その先には「輝く未来」が見えてくるように思います。

神様はすべての人に「輝く未来」を準備してくださっています。そして、そこに到達するための今の「一步一步」も。今、自分の前にある一歩が「輝く未来」に続く歩みであることを信じて毎日の歩みを大切にしていきたいと思います。

3月	乳児 (0,1,2 歳児)	幼児 (3,4,5 歳児)
月主題	おおきくなったね/おおきくなったよ	よろこびあう/希望をもって
月の願い	<ul style="list-style-type: none"> ・神さまやたくさんの人たちに、愛されて大きくなったことを喜ぶ。 ・生活リズムが安定し、心も身体も満たされて過ごす。 ・季節の変化を感じ、いろいろな春を見つけ触れてみる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成長させてくださった神さまに感謝し、これからも神さまが共にいて下さることに希望をもつ。 ・自分の遊びを深めつつ、お互いの存在を感じあいながら共に過ごす。 ・日差しのぬくもり、花々の開花から春の訪れを感じ、戸外で心地よく過ごす。
讃美歌	「つくしのよう」 幼児讃美歌50	「つくしのよう」 幼児讃美歌50